

## 令和6年度事業計画

| 事業名  | 作業種          | 令和6年度計画(ha) |
|------|--------------|-------------|
| 保育事業 | 除間伐等(つる切り含む) | 105         |
|      | 切捨間伐         |             |
|      | 枝打           | 18          |
|      |              | 123         |

3月中旬に事業計画量及び、発注時期をホームページに掲載し、皆様にお知らせするとともに事業体の業務の平準化が図れるように年間を通して発注を進めていきます。

HP URL: <http://www.niigata-ringyou.jp/about/>



※発注時期については3月時点の予定であり、現地確認を行う中で事業の追加を行うため、一覧に載っていない団地や施業を発注する場合は随時調査・確認していきます。

### 1. 令和6年度事業で留意頂きたい事項

#### (1) 完了写真の枚数について

工事完了届の中では完了写真の添付を求めています、どのような写真をどれくらい添付するかがわかりづらいというご指摘を受けたことが何度ありました。つきましては、必要な完了写真の種類・枚数の目安を記載するので、完了写真作成の際にお役立てください。

#### 必要な完了写真の種類

団地や植栽年度が分かれている場合は写真も分けて作成してください  
 選木や刈り払いがあればその作業写真を作成してください  
 どこで撮影したかわかるように写真位置図の作成をお願いします

#### 全景写真

- ・作業前後写真  
 (1haにつき1枚程度が目安)

#### 作業種写真

- ・作業前後写真
- ・作業中写真  
 (1haにつき1枚程度が目安)
- ・測量写真

## (2)間伐の完了写真

工事完了届には施業前・後の写真の添付を求めています。伐木がわかりづらい等の理由で再提出を求められることがあります。特に選木はその有無により契約内容が変わるので、スズランテープなどの写真に写りやすい目印をつけた状態での選木後写真の作成をお願いします。ピンク、黄色、青(水色)が写真に写りやすいです。

間伐前写真



ポイント1  
樹木全体が写っている  
・施業地の状況が分かるように樹木

ポイント2  
伐木対象の選木テープが写っている  
・選木の有無の確認とともに、伐木対象の確認もできるため、確実に写るようにしてください。  
・撮影後にテープが確認できなければ○印などで囲んで伐木が分かるようにしてください。

ポイント3  
緯度経度  
・写真に埋め込まずに欄外に記入しても構いません。完了写真帳には緯度経度の記入をお願いします。

間伐後写真



ポイント4  
同じ構図  
・前後写真なので同じポイント・同じ構図で写真を撮ってください。

ポイント5  
伐木の切株  
・間伐後の確認として間伐前写真で選木した木が切られていることが確認できるように切株が写るように写真を撮ってください。  
・下草等で見えない場合はあらかじめ切株が見えるようにしてから写真を撮



### (3) 枝打ちの完了写真

枝打ちの施業後写真には遠景と近景の2種類を添付してください

施業前(遠景)



#### ポイント6

枝打する枝が枯れ枝ではない

・枯れ枝は枝打の対象には含めないため、枯れ枝でないことがわかるよう

#### ポイント7

スタッフをあて、枝打高が確認できる

・施業前の写真にも**スタッフ、ポール**をあて枝打高が確認できるようにしてください。

#### ポイント8

樹木全体が写っている

・枝打ちの写真も施業地の状況が分かるように遠景写真では樹木の全体が写るように写真を撮ってください。

施業後(遠景)



#### ポイント9

スタッフをあて、枝打高が確認できる

・施業後の遠景写真にもスタッフをあて、枝打高が確認できるようにしてください。

施業後(近景)



#### ポイント10

スタッフの目盛りが確認できる

・近景写真では枝打高がスタッフの目盛りで確認できるようにしてください。

#### (4) 施業中写真

工事完了届に添付いただく施業中の写真において、稀に安全帯やヘルメットの未装着の写真が見られ、写真の再提出をお願いした例があります。皆様の施業においては当然安全に留意し実施されていることと思いますが、写真の再提出となると二度手間になることから安全装備を装着しているかを確認のうえ提出願います。



伐倒作業中

ポイント11  
ヘルメット、耳栓(イヤーマフ)、防護ズボン、保護メガネなど事故防止の装備を着用している。



枝打作業中

ポイント12  
墜落制止用器具(安全帯)の装備、フックが掛けられない場合などはU字つり用胴ベルトの装備など、墜落による災害防止が図られている。

#### ※その他の注意※

事業体の施業管理のため黒板に施業面積等を入れて写真を撮っているものも見受けられますが、誤った面積等が写り込んでいると写真の差し替えをお願いすることになるため、黒板等を写す際にはお気を付けください。



# (5)作業道開設の完了写真

作業道開設は路線(枝線含む)ごとの開設前後写真と、開設時の状況写真を作業種(掘削、除根、転圧等)ごとに撮影したものを添付して下さい。

開設前後写真

開設前



○号線  
No.〇〇

ポイント13  
どの路線のどこの写真かわかるように路線番号と  
測点番号を入れる

開設後



ポイント14  
同一箇所であることがわかるように同じ構図で写真を撮る

ポイント15  
幅員がわかるようにポール、スタッフを置く

開設時の状況写真

除根



掘削



転圧



ポイント16  
作業種を入れる

## 2.工事打合せ簿の徹底について

平成29年度より、公社から設計内容の変更等の指示がある場合のほか、請負側から設計変更の協議が必要な場合や、現場状況に疑義の生じた場合には、該当部分の作業着手前に必ず工事打合せ簿を提出し、公社の許可を得てから作業に取り掛かるようにしたところです。

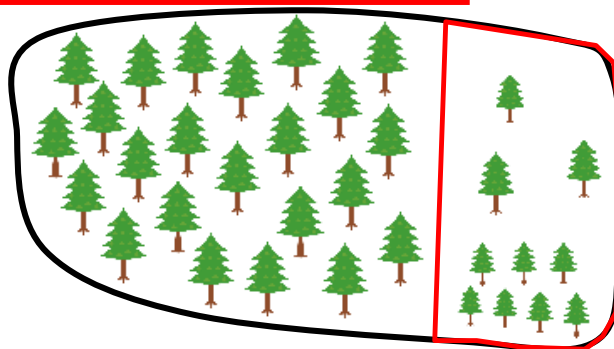
しかし、一部の事業体で、施工範囲の変更や森林作業道の開設延長・法線の変更、作業路の修繕を事後で報告してきた例がありました。

工事打合せ簿の提出が無く、公社の許可も得ていない場合には、その分の変更が認められない場合がありますので、設計内容と現地の大幅な乖離（特に設計金額の変更に係るもの）は、必ず工事打合せ簿をもって事前に処理をする必要があります。

なお、急ぎの場合は、事前に電話連絡による打合せをし、工事打合せ簿を提出する形で構いませんので、設計内容の変更に関わる事項は必ず事前協議をお願いします。工事打合せ簿の電子データはHPIにも掲載しております。

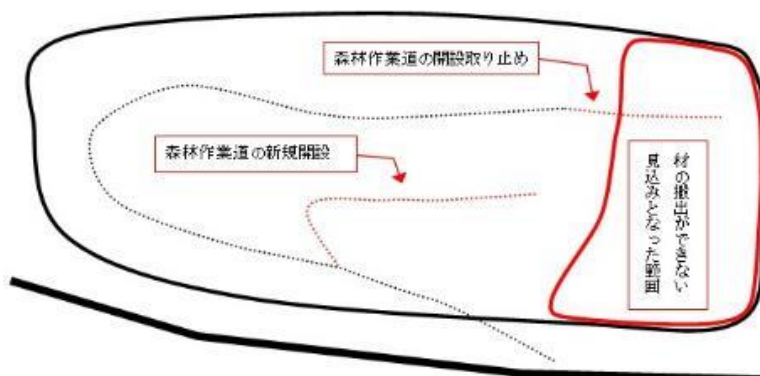
図、工事打合せ簿が必要な場合の例

例1、発注した施業範囲内に設計内容と異なるようなまとまりがある場合  
(本数密度が極端に少ない、樹高が極端に低いなど)

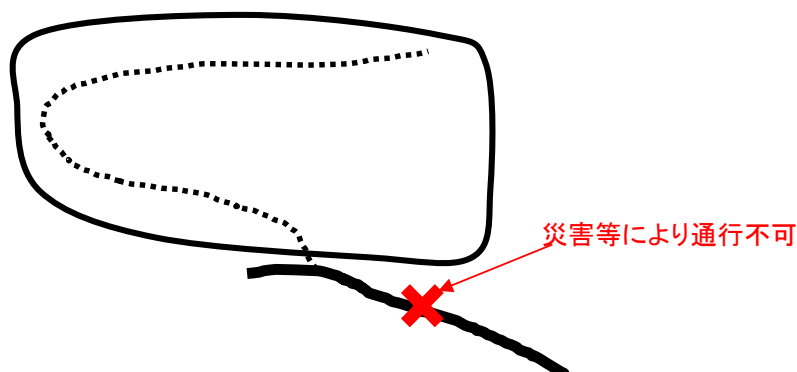


例2、施業中に材の搬出が困難となる事象が発生し、利用間伐の実施面積が減る見込みとなった場合。

例3、施業範囲の変更に伴い、森林作業道の延長を短くし、さらに支線を1本追加施工する必要が見込まれた場合。



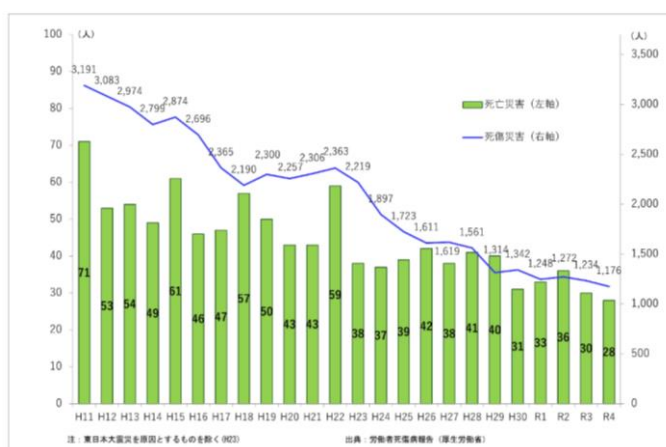
**例4、団地に入るためのアクセス道が災害等で崩れており、修繕が必要になった場合**



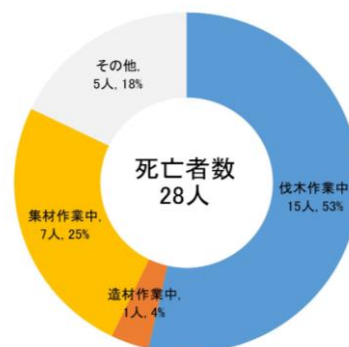
工事打合せ簿の作成例については別紙1参照

### 3. 林業労働災害の防止について

R4年度には全国で28件の林業労働災害による死亡事故が発生しました。林業における労働災害の発生件数は年々低下しているものの他業種と比較すると依然として高いため、伐倒の際には別紙2「林業における労働災害防止対策(厚生労働省)」にあるような対策を取り安全な施業をこころがけるようお願いします。



林業における労働災害発生の推移(林野庁)



R4年度の作業種別死亡災害発生状況(林野庁)

※もし事故が発生した場合は...

速やかに農林公社の**監督員**に事故が発生したことを報告

- ・監督員が不在だった場合は**森林・林業課長**に報告
- ・事故の発生が土日だった場合は、**軽微**なものに限り翌**月曜日**でも可

↓  
**事故発生報告書**を提出

- ・県に提出しているものと同じ様式で構いません